

わなげ





公式ワナゲの用具について (日本ワナゲ協会公認の用具を使用)

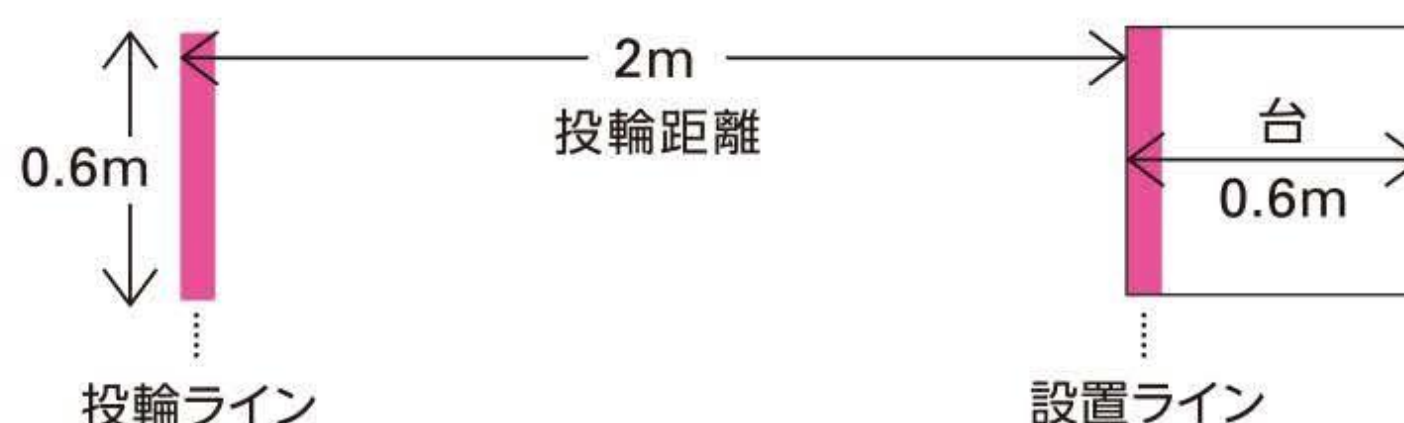
台(ワナゲ台) 木製60cm×60cmの白地、上段左より4・9・2、中段左より3・5・7、下段左より8・1・6の数字を茶色で印したもの。
各数字の上には得点棒を固定し、
台裏には傾斜をつけるための脚2本をつける。傾斜角度は $20^{\circ}(\pm 1^{\circ})$ 。

輪 赤色4本・黄色4本・青色1本の計9本。
ゴム製で外径17.0cm(± 1 mm)、
内径13.8cm(± 1 mm)、重量133g(± 3 g)。



場所・コート

屋外・室内を問わず、平坦な場所に台を設置し、図のように^{とうりん}投輪ラインと設置ラインを引く。
公式ルールでは、2mより投輪を行う。
但し、申し合わせにより、競技者の身体条件、技術レベルに応じて投輪距離を別に設定しても構わない。

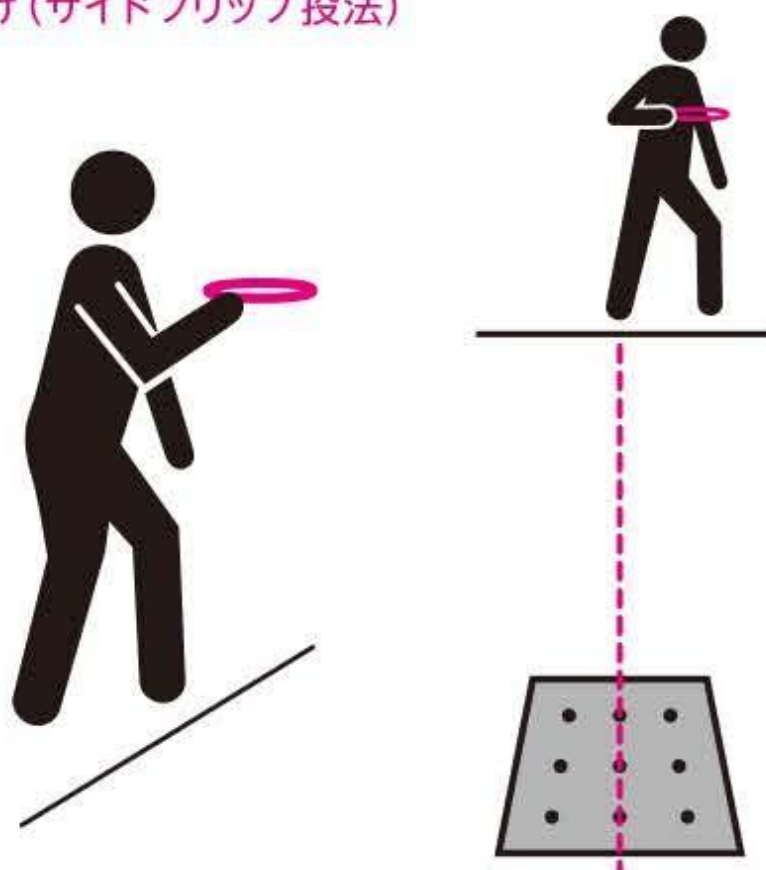


輪の投法について

横投げ(サイドフリップ投法)

輪を地面に対して平行に保ち、
足を前後に、肩幅よりもやや広くとり、
サイドスローで投げる方法。
この投法はコントロールが難しいが、バウンド(跳ね返り)
しにくいので、近距離に適している。

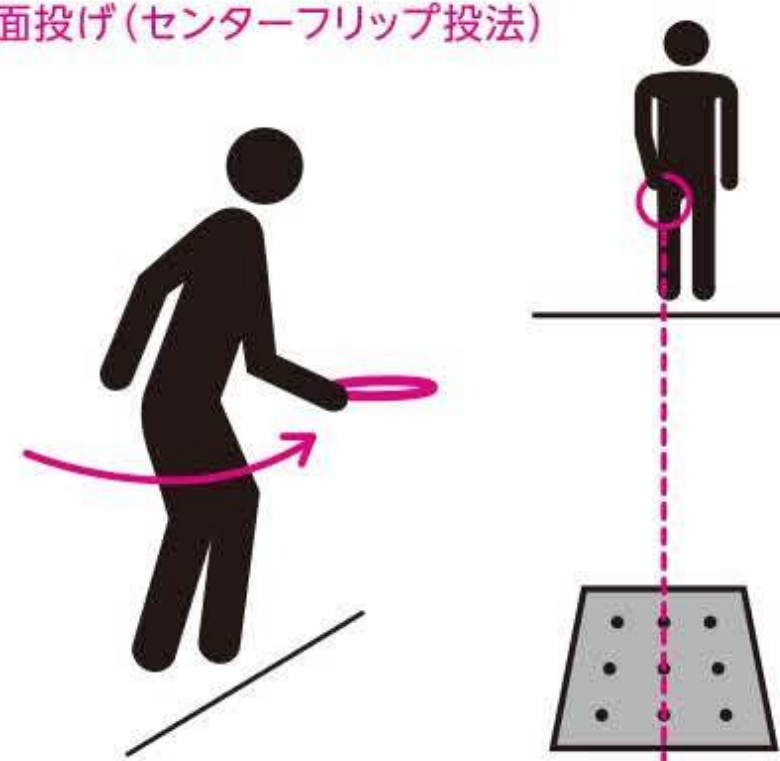
横投げ(サイドフリップ投法)



正面投げ(センターフリップ投法)

足を肩幅と同じ程度に開き、利き腕がワナゲ台の
中央部に向く形で、投輪ラインに沿って立つ
(利き腕側の足を一步引く姿勢をとるのもよい)。
次に、輪が地面に対して平行になるように突き出す。
そして、輪を持つ腕の力を抜いて後方に振り、
その反動で投げるアンダースロー投法である。
慣れると的中率が高いが、バウンドしやすい。

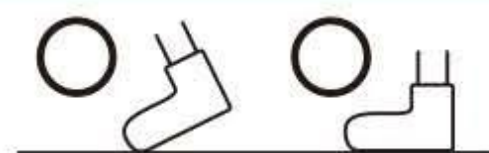
正面投げ(センターフリップ投法)



競技の進め方 単独投輪方式と交互投輪方式があります。

投輪 ルール 重要

- ① ラインを踏まない。
- ② 両足は床につけて投輪する(図の通りかかとを浮かしてもよい)。
- ③ 投げた輪が静止するまで投輪ラインを越えたり、次の輪を投げない。



【単独投輪方式】参加者の多い大会の予選向き

- 1 1人が9本の輪(赤色4・黄色4・青色1)を続けて投げる。
- 2 輪はどのように持って投げて構わないが、投輪ラインの手前から投げる。投輪は、両足を床につけて行う。ただし、かかとを浮かせてもよい。また、ラインを踏んだり、越えたりしてはならない。違反があった輪は、無効の輪とし取り除く。
- 3 棒に入っている輪が無効の輪によって外れた場合は、外れた輪をもと通り棒に戻す。ただし、ワナゲ台に乗っていた輪が移動した場合はそのままとする。一度床に落ちた輪がその後台上に乗った場合は、無効の輪としてそのつど取り除く。
- 4 ワナゲ台の上に乗っていた輪が、その後のプレーで棒に入った場合、有効の輪となる。
※投輪中は台が動いてもそのままにしておく。得点確認後元に戻る。
- 5 得点は、9本全部の輪を投げ終わった後次のプレーヤーが計算する(相互審判)。

【得点】

- 輪が入っていた下の数字が得点となる。
- 縦横斜のいずれか1列に輪が入った場合は『一期の原則』により15×2=30の点数になる。
- 全部の棒に1本ずつ輪が入った場合は「上がり」(パーフェクト)で300点となる。

4	3	9	2	1
3	1	5	1	7
8	1	1	6	1
30点×3列=90点 他得点8点 総合計98点				

【単独投輪方式 スコアカード記入例】

2、3、5、6、8の数字に輪が各1本、4の数字に輪が3本入った場合。

【得点の説明】

4の数字には3本輪が入っているが列で1本つかったので2本となり、他得点は2本×4で8点となる。

【交互投輪方式】競技者だけでなく、観戦者も十分楽しめる大会の決勝向き

- 1 ジャンケンで勝った方が先攻(赤色4本)、負けた方が後攻(黄色4本)となり、『負け後攻の原則』1投ずつ交互に投輪する。
※青色の輪(アンカーリングと呼ぶ)は投輪ライン付近の、投輪に支障のない場所に置く。
- 2 各4本ずつの輪を投げ終わり、互いの点数を確認した後、点数の低いプレーヤーには「アンカー権」が与えられる。同点の場合は、アンカー権は施行されない(『和の原則』)。
- 3 得点は、アンカーリング投輪後、セットごとに互いの点数を確認する(相互審判)。
- 4 1試合は3セットで行い、2セット以降は前セットで負けた方が後攻となる(『負け後攻の原則』)。同点の場合、そのセットの先攻が次のセットの先攻となる。
- 5 勝敗は、1試合必ず連続して3セット行い勝ちセット数で競う。勝ちセット数が同じ場合、総合得点の多い者の方が勝ち。総合得点も同点の場合は『和の原則』により引き分けとする。勝負が必要な場合は「一投勝ち」で決める。
- 6 2セットで勝敗がついても試合は3セットまで行う。

【交互投輪方式 スコアカード記入例】

氏名 セット	(歳)	(歳)
1	赤・黄 31点	赤・黄 5点
2	赤・黄 11点	赤・黄 11点
3	赤・黄 6点	赤・黄 32点
勝敗	1勝 1敗 (引き分け 1回)	1勝 1敗 (引き分け 1回)
総合計	48点	48点
一投勝ち	7	2

【得点】

- 得点の数は単独投輪方式と同じ。
- アンカーリングにも『一期の原則』が適用される。

日本ワナゲ協会
公式ワナゲ スコアカード

単独投輪方式

氏名

(歳)

大会名

所属

●第

ゲーム

●コート番号【

】

●距離

m

4

9

2

3

5

7

8

1

6

30点×

列=

点

他得点

点

総合計

点

実施日

年

月

日

確認

日本ワナゲ協会
公式ワナゲ スコアカード

交互投輪方式

大会名

所属

●第

ゲーム

●コート番号【

】

●距離

m

氏名

(歳)

(歳)

セット

氏名

(歳)

(歳)

1

赤・黄

点

赤・黄

点

2

赤・黄

点

赤・黄

点

3

赤・黄

点

赤・黄

点

勝敗

勝

敗

勝

敗

(引き分け)

(引き分け)

総合計

点

点

一投勝ち

実施日

年

月

日

確認

公式ワナゲスコアチャレンジ「全国ランキング大会」用の
スコアカードにもご使用ください。尚、その際の投輪距離は2mです。

※コピーしてお使い下さい。

日本ワナゲ協会
公式ワナゲ スコアカード

単独投輪方式

氏名

(歳)

大会名

所属

●第

ゲーム

●コート番号【

】

●距離

m

4

9

2

3

5

7

8

1

6

30点×

列=

点

他得点

点

総合計

点

実施日

年

月

日

確認

日本ワナゲ協会
公式ワナゲ スコアカード

交互投輪方式

大会名

所属

●第

ゲーム

●コート番号【

】

●距離

m

氏名

(歳)

(歳)

セット

氏名

(歳)

(歳)

1

赤・黄

点

赤・黄

点

2

赤・黄

点

赤・黄

点

3

赤・黄

点

赤・黄

点

勝敗

勝

敗

勝

敗

(引き分け)

(引き分け)

総合計

点

点

一投勝ち

実施日

年

月

日

確認

公式ワナゲスコアチャレンジ「全国ランキング大会」用の
スコアカードにもご使用ください。尚、その際の投輪距離は2mです。

※コピーしてお使い下さい。